

# 合併症リスク減らすため



【問い】大学病院で乳がんの手術を予定している母親が、手術前に歯科医院で悪いところがあれば治療とケアを行ってくださいと言われました。理由を教えてください。(大村市、43歳女性)

【答え】口の中には多くの細菌が生息しています。普段は悪さをしない細菌も、手術や抗がん剤治療、放射線治療などで一時的に全身の抵抗力が弱まったとき、肺炎や重症の口内炎などのさまざまな合併症の原因となつて、手術後の治りが悪くなる場合があります。しかし治療を始める前に、あらかじめお口のケアを行い、細菌数をできるだけ少なくすることで、合併症のリスクを減らすことができます。

傷ついたりすることを防ぐために、保護用マウスピースを作ることもあります。その結果、早く自分の口で食事を取ることができ、早期の回復が期待できるようになります。ちなみに口の中のがん(口腔がん)は他のがんに比べて数が少なく認知度が低いものの、死亡率は46.1%(10位)と、決して侮れない病気です。口腔がんを予防し、早期発見するためにも歯科医院を定期的に受診し、口の中を診てもらってください。

口の中の細菌は、その大多数が、歯の周りの汚れ(歯垢や歯石)の中に潜んでいます。お口のケアでは、専用の道具を使って歯の周りの汚れを除去するとともに、セルフケア方法についてアドバイスします。また、むし歯があれば処置をして、口の中をできるだけ健康な状態に保つようによい。他にも全身麻酔の際、歯が

歯科医院で定期的な管理を受けることは、こういった事態の備えになるとともに、脳梗塞、心筋梗塞、糖尿病、アルツハイマー型認知症などさまざまな病気の予防にもつながっています。また、がん以外の病気で入院、介護状態になってしまった時には、往診(訪問歯科診療)する歯科医院も増えてきています。かかりつけ歯科医院や歯科医師会にぜひ、ご相談ください。

### 質問をどうぞ

## がんと歯科治療

回答者  
いまみち ともゆき  
大村市本町  
いまみち歯科医院院長



歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020」ながさきで検索できますので参考にしてください。